

2009



国立歴史民俗博物館 研究報告

ラマンイメージング装置による伊勢市版歌川派錦絵および
版木の色材分析 小瀬戸恵美・落合周吉・増谷浩二・東山尚光・坂本章

紀伊徳川家の付家老新宮水野家の
御庭焼「三楽園焼」 水本和美・新免歳靖・二宮修治

清沢冽のモダンガール論 佐久間俊明

水田と焼畑 西谷大

百済の都出土の「連公」木簡 平川南

【調査研究活動報告】

弥生時代井堰の年代 藤尾慎一郎・今村峯雄・山崎頼人

国立歴史民俗博物館所蔵の古代史料に関する書誌的検討 渡辺滋

【資料紹介】

史料研究

『兼仲卿記』紙背文書 正応元年二・四・五・六月巻 勘仲記裏文書の会

国立歴史民俗博物館所蔵『顕広王記』

承安四年・安元二年・安元三年・治承二年巻 高橋昌明・樋口健太郎

静岡藩の医療と医学教育 樋口雄彦

第153集
平成21年12月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第153集**

目次

ラマンイメージング装置による伊勢市版 歌川派錦絵および版木の色材分析	小瀬戸恵美・落合周吉 増谷浩二・東山尚光・坂本章	1
紀伊徳川家の付家老新宮水野家の 御庭焼「三楽園焼」 考古学および自然科学分析からみたその実態	水本和美・新免歳靖 二宮修治	21
清沢洌のモダンガール論	佐久間俊明	63
水田と焼畑 重層の生業戦略からみた複合的な生業	西谷 大	87
百済の都出土の「連公」木簡 韓国・扶餘双北里遺跡一九九八年出土付札	平川 南	129
[調査研究活動報告]		
弥生時代井堰の年代 福岡県小郡市力武内畑遺跡の年代学的調査	藤尾慎一郎・今村峯雄 山崎頼人	117
国立歴史民俗博物館所蔵の 古代史料に関する書誌的検討	渡辺 滋	169
[資料紹介]		
史料研究 『兼仲卿記』紙背文書 正応元年二・四・五・六月巻	勘仲記裏文書の会	395
国立歴史民俗博物館所蔵『顕広王記』 承安四年・安元二年・安元三年・治承二年巻	高橋昌明・樋口健太郎	417
静岡藩の医療と医学教育 林洞海「慶応戊辰駿行日記」の紹介を兼ねて	樋口雄彦	445

Contents :

KOSETO-HORYU Emi, OCHIAI Shukichi, MASUTANI Kouji, HIGASHIYAMA Hisamitsu and SAKAMOTO Akira	
—— Study of the Colors of Some Utagawa School Ukiyo-e and Its Woodblocks Mainly Published by Ise-ichi Using Raman Imaging Equipment	1
MIZUMOTO Kazumi, SHINMEN Toshiyasu and NINOMIYA Shuji	
—— Oniwa-yaki “Sanrakuen-yaki” of the Shingu Mizuno Family, Chief Retainer to the Kishu Tokugawa Family : Natural Science and Archaeological Study of Its State	21
SAKUMA Toshiaki	—— On the Modern Girls by Kiyoshi Kiyosawa
	63
NISHITANI Masaru	—— Paddy Fields and Burnt Fields : Multi-Subsistence as Multi-Layered Subsistence Strategy
	87
HIRAKAWA Minami	—— “Muraji-no-Kimi” Wooden Tablet Excavated from Paekche’s Capital : 1998 Korea, Buyeo Hyeonnae-ri Site Excavation Baggage Tag
	129
Report on Investigation and Research Activities	
FUJIO Shin’ichiro, IMAMURA Mineo and YAMASAKI Yorito	
—— The Dating of Yayoi Period Weirs: Chronological Study of the Rikitake-Uchihata Site in Ogori City, Fukuoka Prefecture	117
WATANABE Shigeru	—— Bibliographic Study of the Ancient Historical Documents Collected at the National Museum of Japanese History
	169
Research Materials	
Kanchuki Uramonjo Society	
—— Historical Document Research; Over-Written Manuscript of “Kanenaka Kyouki” 1288, February, April, May, June Scroll	395
TAKAHASHI Masaaki and HIGUCHI Kentaro	
—— The 1174, 1176, 1177 and 1178 Volumes of the “Akihiroouki” in the Collection of the National Museum of Japanese History	417
HIGUCHI Takehiko	—— The Shizuoka Clan’s Medical Care and Education: Combined with an Introduction to Hayashi Doukai’s “Keio Boshin Shunkou Diary”
	445

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項

- 1 国立歴史民俗博物館研究報告（以下「研究報告」という）は、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 2 研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - 一 国立歴史民俗博物館（以下「博物館」という。）の教職員（客員教員を含む。）
 - 二 運営会議委員
 - 三 名誉教授
 - 四 博物館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - 五 特別共同利用研究員のうち受入れ期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 博物館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 七 その他博物館において適当と認めたる者
- 3 原稿を寄稿する場合は、論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、博物館の研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という）において行う。
- 4 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳か抄訳を付ける。
- 5 特殊な文字、記号、印刷方法が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
- 6 寄稿する論文には、800字以内の日本語要旨と400語程度の英語要旨を付けるものとする。また、5項目以内のキーワードを付ける。
- 7 寄稿する原稿の分量は40頁以内に収めること。その内、写真・図版等は論文表現のうえて必要最小限にとどめ、10頁をこえないこと。また、写真・図版等は掲載箇所を指示し、大きさを指定すること。カラー頁は原則として認めない。なお、編集委員会の判断により、全体の分量等の関係から圧縮や分割掲載を指示する場合がある。

1頁あたりの構成：縦書 32字 27行 2段
横書 44字 37行 1段

文字の大きさ：13Q
大きさの目安：版面 横169mm×縦237.5mm（最大）
- 8 写真・図版等の掲載に関する許諾は寄稿者がとること。
- 9 寄稿の際は打ち出し原稿3部及びFD、CD等電子媒体1部を添付すること。
- 10 寄稿された原稿は、編集委員会において査読者を定め、審査のうえ、採否を決定する。
- 11 博物館で作成する抜刷は、100部までとする。
- 12 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 13 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会（代表電話 043-486-0123）

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員（五十音順）

池 享 一橋大学大学院経済学研究科
設 楽 博 己 駒澤大学文学部
丸 山 伸 彦 武蔵大学人文学部
八木橋伸浩 玉川大学リベラルアーツ学部

館内委員

井原今朝男 歴史研究系
関沢まゆみ 民俗研究系
永 嶋 正 春 情報資料研究系
藤尾慎一郎 考古研究系（編集委員長）
青 山 宏 夫 歴史研究系（研究推進センター長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第153集



平成21年（2009）12月10日 第1版第1刷発行

（非売品）

発行所



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123（代）

印刷・製本所



株式会社 アイワード

〒060-0033 札幌市中央区北3条東5丁目5-91 ☎011-241-9341（代）

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History

Study of the Colors of Some Utagawa School Ukiyo-e and Its Woodblocks
Mainly Published by Ise-ichi Using Raman Imaging Equipment
KOSETO-HORYU Emi, OCHIAI Shukichi, MASUTANI Kouji,
HIGASHIYAMA Hisamitsu and SAKAMOTO Akira

Oniwa-yaki “Sanrakuen-yaki” of the Shingu Mizuno Family,
Chief Retainer to the Kishu Tokugawa Family :
Natural Science and Archaeological Study of Its State
MIZUMOTO Kazumi, SHINMEN Toshiyasu and NINOMIYA Shuji

On the Modern Girls by Kiyoshi Kiyosawa
SAKUMA Toshiaki

Paddy Fields and Burnt Fields :
Multi-Subsistence as Multi-Layered Subsistence Strategy
NISHITANI Masaru

“Muraji-no-Kimi” Wooden Tablet Excavated from Paekche’s Capital :
1998 Korea, Buyeo Hyeonnae-ri Site Excavation Baggage Tag
HIRAKAWA Minami

Report on Investigation and Research Activities

The Dating of Yayoi Period Weirs :
Chronological Study of the Rikitake-Uchihata Site in
Ogori City, Fukuoka Prefecture
FUJIO Shin'ichiro, IMAMURA Mineo and YAMASAKI Yorito

Bibliographic Study of the Ancient Historical Documents Collected
at the National Museum of Japanese History
WATANABE Shigeru

Research Materials

Historical Document Research ;
Over-Written Manuscript of “Kanenaka Kyouki”
1288, February, April, May, June Scroll
Kanchuki Uramonjo Society

The 1174, 1176, 1177 and 1178 Volumes of the “Akihiroouki”
in the Collection of the National Museum of Japanese History
TAKAHASHI Masaaki and HIGUCHI Kentaro

The Shizuoka Clan’s Medical Care and Education :
Combined with an Introduction to Hayashi Doukai's
“Keio Boshin Shunkou Diary”
HIGUCHI Takehiko

